

令和4年9月16日

保護者様

柏市市立土小学校

校長 梅津 健志

第1回学校評価アンケートの結果について

学校評価アンケートのご回答ありがとうございました。今年度は、学校経営方針を明確化させた一方、それを具体化する新しい方法を取り入れたため、1学期の様子だけでは不十分ではあるものの、全体的な状況把握をした上で、きめ細やかな学校経営に生かしていきます。ご家庭と学校、地域で課題を共有しながら、子どもたちを育てていきたいと思っております。本アンケートを2学期以降の教育活動に活かしてまいります。

第一回学校評価アンケート結果概要

・グラフ(数値の見方)について

質問に対して「すごくそう思う そう思う あまり思わない 全然思わない わからない」の5点で回答してもらい、わからないを除く4点は得点化して、平均値を示しました。3.0以上であれば概ね満足できるとし、3.2以上は大いに満足できるとみます。2.8以下については、課題が大きい・理解が不十分であるとみます。

※数値(ポイント)やパーセンテージについての詳細はこちらからご確認ください

[①学校評価アンケート](#) [②目指す子どもの姿\(4つのC\)アンケート](#) [③学校評価記述内容](#)

・学校教育目標について

教職員は、学校教育目標を意識して(3.35ポイント<肯定的回答100%>)教育活動を行っていることがわかります。人事異動により半数が入れ替わっているにも関わらずこの結果であることは、教職員一人ひとりの意識の高さを表しています。保護者も、学校教育目標については、一定程度(3.00ポイント<肯定的回答79.1%>)の浸透がなされているものの、学校教育目標を具体的に家庭での姿に落とし込んでいくまでには課題(2.69ポイント<肯定的回答60.4%>)があると認識しています。今後、特に学習評価と関連して意識化できるよう、また具体的にお示しできるような教育活動の工夫改善を図ってまいります。

・学習に関わる内容について

教職員は、新校舎や新しい環境を生かした教育活動を意識して(6項目平均3.19ポイント<肯定的回答平均91%>)取り組んでおり、各々の状況に応じた成果も得ていると考えています。総合的な学習の時間を中心に、地域と共有した教育課程を作っていますが、保護者からも外部人材や地域と連携した教育活動を実施しようとしていることに理解をいただけています(6項目平均3.02ポイント<肯定的回答平均73.2%>)。新校舎の環境やGIGAスクール環境を活用した教育活動についても同様です。学年担任制については、新しい仕組みのため教職員は、良さと課題について工夫改善しながら進めています。2学期からは2年生も学年担任制を導入し、各学年さらに教科以外の入れ替わりを実施していきます。児童も肯定的な回答が多いようですが、結果等を検証しながら進めてまいります。お気づきの点があれば引き続きお知らせください。

端末活用やネットリテラシーについて

[柏市教育委員会の方針](#)に準じ、禁止事項や端末不使用により児童を守ること以上に、児童を主体とした「文具」として積極的な利活用を推進しています。その過程における様々な経験を通して、端末を【かしこく・やさしく・たくましく】使えるよう各学級で発達段階に応じて指導しています。2学期には外部講師を招いて情報モラル教育も実施します。

11月の授業参観週間に予定していますので保護者の方もぜひご参観ください。また、PTA とも連携し啓発行事等も検討しています。端末活用における困りごとやトラブルがあれば、個別に対応しますのでご相談ください。

・生活に関わる内容について

教職員は生活指導に関しても、学校教育目標と目指す姿を意識した(8項目平均 3.26 ポイント<肯定的回答平均 92.5%>)指導に取り組んでいます。自己選択や自己決定に関しては、学習の中で児童の資質・能力ベースにして、教育課程の中で意図的計画的に育成を図ろうとしているため、今後の効果にご期待ください。

保護者からは、地域に開く方針や生活に関わる内容について一定の理解や方向性への支持(8項目平均 2.99 ポイント<肯定的回答平均 70.6%>)を得られています。学習や行事を通じて、子供の具体的な姿(どのような姿の実現をねらっているかなど)が伝わるように工夫をしております。

ペーパーレス化の改善について

学校としてペーパーレス化に向けた取組みにも力を入れていますが、保護者の皆様には LINE 配信について画質の粗さ等ご意見をいただきました。2学期からは PDF にも対応しましたので見づらいことも改善されるかと思えます。また、LINE ですぐ内容が分かるよう従来の手紙形式だけではなく LINE に対応したお手紙(「学校評価アンケートのお願い」や「転出入職員のお知らせ」など)の発信も行っていきます。

・児童の評価について

全て3.2以上と肯定的であると受け止めています。しかし、「あまり思わない」項目が10%を超えている「学校教育目標の意識」、「3面ホワイトボードを使った授業や話し合い活動」「行事での同学年やほかの学年とのかかわり」「自分で決める場」については課題としてとらえ、改善を図っていきます。

・目指す子どもの姿(4つのC)について

本校の6年間で「目指す子どもの姿」を数値化(質問に対して「とてもあてはまる あてはまる あてはまらない まったくあてはまらない」の4点で回答したものを得点化し平均値を示す)しているものです。1学期の土っ子の実態をもとに2学期以降の取り組みに活かしていきます。

児童の全体的傾向として、①コントロール(自律する力・生活力)②コミュニケーション(関わり合う力)③チャレンジ(挑戦する力)④コンセプト(見通す力)の順にポイントが高くなっています。

これは、本校の目指す子どもの姿の想定する高まりと一致しております。1学期は、まずは「自分を知る、地域を知る」ことに重点をおいており、この点を高めることが、次の他者と関わりながら協働していくことにつながると考えています。現段階で、他者との関りも高まってきていることから、総合的な学習(生活科)などで本格的に地域等と関わる2学期において、目標設定や課題解決のための粘り強さが学習の中でも高まっていくと考えます。また、2学期以降の総合的な学習(生活科)は常に学習材は地域であるため、地域に働きかける学習を通してコンセプト(見通す力や振り返り)を高めてまいります。

柏市で示す4つのC	土小の6年間で目指す子どもの姿	点数
コンセプト(見通す力)	学んだことを実生活や実社会で活かす コンセプト(振り返り)	3.13
チャレンジ(挑戦する力)	目標をもって、調整しながら粘り強く取り組む チャレンジ(粘り強さ)	3.30
コミュニケーション(関わり合う力)	他者を認め、他者と助け合う コミュニケーション(協働)	3.33
コントロール(自律する力・生活力)	自分を知り、自分を表現する コントロール(自己肯定感)	3.34